



「ばんそうこう」をはがしたあとが、しわになるのはなぜ

「ばんそうこう」の下の、皮ふがふやけたから

「ばんそうこう」をはがしたあとが、白くなったりしわがよっていたりするのは、ばんそうこうの下に、皮ふから出た汗がたまり、皮ふがふやけたからです。

皮ふは水を吸う

人間の体の皮ふは、表面の表皮、その下の真皮、さらにその下の皮下組織の、3階建てになっています。手のひらや足の裏の表皮は、体のほかの部分にくらべ、特に厚くできています。

そのため、プールやお風呂、海や川など、水の中に長い間入っていると、手のひらや足の裏の皮ふが、水やお湯を吸ってしまいます。

わたしたちの体のどんなところも、「細胞」という小さな小さなものが集まってできています。

手のひらや、足の裏の皮ふも同じです。

水の中に長い間入っていると、手のひらや足の裏の表皮の細胞が、水を吸ってふくらんでふやけてしまい、皮ふはのびます。しかし、表皮の下の皮ふはそのままなので、ふやけた細胞がおしあい、表皮がふやけてのびただけ、しわになるのです。

特に指の先は、反対側につめがあるため、ふやけてのびた表皮の、にげ場がなくなるため、はっきりとしたしわができるのです。「ばんそうこう」をはがしたあとが、白くなったり、しわがよっていたりするのも、同じわけです。（監修・保志 宏）

